

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育型児童発達支援凹凸凹凸保育園浦和西口校		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育型児童発達支援と保育を組み合わせた視点を大切にしています。母子分離のうえで、朝の会や帰りの会・給食の提供・午睡の時間など、一日を通した園生活を過ごすなかで、子どもの成長を見守ります。	手厚い職員体制で丁寧な支援、運営を心掛けています。子ども一人ひとりの個性を理解し、一つひとつの場面にきめ細やかな配慮のもとでの支援を大切にしています。	子ども一人ひとりの好きなものや興味関心、課題に合わせた療育プログラムを考案し、さらに充実させていきたいと思えます。
2	集団療育と個別療育のふたつの支援を子どもの理解を深めた職員が提供しています。小集団だから得られる刺激や個別だから提供できる個々に合わせた療育を同じ場所で同日に行うことができます。	保護者のご要望と子どもの気持ちや思いを大切にするため、定期的に面談や聞き取りを行っています。そこで得た情報は職員間で共有事項として周知し、同じ方向性で支援ができるよう努めています。	集団療育と個別療育のプログラム内容のすみ分けをし、それぞれの活動の違いが曖昧にならないように、提供の仕方や内容を職員全体で検討しながら決めていきます。
3	併用している保育園や幼稚園、他福祉サービス事業所との情報共有が必要な時に、個人情報の取扱いに十分留意しながら連携をしています。	関係機関同士のコミュニケーションを密にとりながら、それぞれの園や関係機関でどのようにその子が過ごしているか、事前に保護者への同意を得ながら、こちらの情報も提供することで相互理解を深めています。	子どもと関わりのある関係機関との連携や繋がりを積極的に図っていきます。当園だけで支援方針を考え進めていくのではなく、様々な視点からの支援を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者とはそれぞれ定期的に面談や話をする機会を設けているが、通園している保護者同士の交流の場や情報交換ができる時間を作っていきたいです。	平日では働いている保護者が参加しづらく、保護者会・交流会を開催しても集まりにくさがあります。	保護者の意向を受けたくうえで、保護者会・交流会を開く際の、場所や曜日、時間の設定を行い、多くの保護者が参加できる条件を整える必要があります。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育型児童発達支援凹凸凸凹保育園浦和西口校					公表日	令和8年2月20日	
					利用児童数	令和8年2月1日	回収数 8	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				子どもが気になってしまうので、玄関口にごみが落ちている時には掃き掃除をしてもらえたらと思う。	開園前や閉園後だけではなく、その都度毎に玄関口の美化に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1	感触遊びが増えてほしい。	療育内容が固定化・偏りがなく、月毎に職員間で内容を精査し、ご希望に添えるよう対応いたします。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	4	親向けの勉強会が開催されたら参加したい。	保護者のご意見、ご要望を聞きながら、研修会・勉強会の開催を検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1		1	連絡ツールで1日の内容は把握できるが、その日何をしたのか直接聞いて安心したい気持ちもある。	連絡ツールを用いながら、保護者との直接的な日々の連携もとれるよう進めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		1	4	これから少しずつ保護者同士の交流会も開催されると嬉しい。	次年度より保護者のご意見、ご要望を聞きながら、保護者会・交流会の開催を検討しております。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				子どもも親も安心して通えている。	ありがとうございます。利用していただいている皆様が安心して通える環境を引き続き提供してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			1	毎日とても楽しみにしています。	子どもたちが通うのが楽しみになるようなプログラムや療育、イベントの提供を促進いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1			大満足です。	保護者のご意見、ご要望をお聞きしながらニーズに応えられるよう努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	保育型児童発達支援凹凸凹保育園浦和西口校					公表日	令和8年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		必要に応じて静養室兼相談室を開放し、子どもたちが安心できる環境設定を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			今後必要とあれば外部評価も受けた方が良いのではないかと
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		児童発達支援管理責任者が中心となり、プログラムの立案をしている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			その日登園する子の状況説明や連絡事項、役割分担の確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			療育支援システムを使い、日々の記録に漏れないよう努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4		利用児に就学を控えている子がいないので、今後就学移行を控えた子が現れた時には適切に対応していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		公園などで地域のお子さん達と交流する機会はあるが、活動やイベントを共にする事はほぼない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家族が参加できる研修の情報提供はできるが、当園で機会を作るには準備や整備が必要になる。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		アンケートの時点では、保護者会の開催はできていないので、次年度に向けて保護者の意見を取り入れながら検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		療育支援システムの導入により、よりスムーズに連絡体制が取れるようになっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		発達支援を利用している事を周囲に知られたいくないご家庭もあるなかで、地域連携を行う場合、保護者の理解や同意を確実に得ながら進める必要性が高い。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に通院歴や既往歴を記載する発育確認票の提出を必須としている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		怪我や忘れ物等に対して、再発防止のためのヒヤリハットを記入し、全員が目を通せるように回覧している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				